

三浦市議会議員（無所属）

いしざき 遊太



編集・発行 石崎 遊太 / 令和7年1月発行 / 南下浦町上宮田1422-4 / 080-4733-4115

行政視察のご報告

昨年10月と11月に、私が所属する都市民生常任委員会と議会運営委員会で行政視察を実施しました。近年、地方議員による宿泊を伴う視察に対して、その有用性を疑問視する声が上がっています。税金を投じて視察を行う以上、私たち議員はそうしたご意見を真摯に受け止めなければなりません。そのうえで私は、三浦市議会が行っている行政視察には大きな意義があると胸を張って言うことができます。当然ながら視察先は各委員会において明確な目的をもって選定していますし、独自の運用ルールとして、議員一人ひとりが報告書を提出し、これを公表することが義務付けられています。三浦市は厳しい財政状況のために議員の調査・研究活動に充てられる政務活動費がゼロとなっていることもあり、こうした視察の機会には本当に貴重な学びの場でもあるのです。今回の視察で得た知見を行政への提言に活かすことはもちろん、来年度以降の視察においても市民の皆様成果をきちんとお伝えできるよう、より効果的な運用に努めてまいります。

都市民生常任委員会 視察報告書



岩手県遠野市および北上市
 ・遠野市総合食育センターについて
 ・保健・子育て支援複合施設について

議会運営委員会 視察報告書



島根県浜田市および江津市
 ・タブレット活用と広聴機能強化について
 ・対面式議場での議事運営について

PROFILE -プロフィール-



いしざき 遊太

HP、各種SNSなどは
こちらからどうぞ！！
過去のみうラボReportも
HPにアップしています。



1991年4月生まれの33歳。幼馴染の妻とともに、娘(2歳)と息子(4か月)の子育てに奮闘中。
 上宮田小羊保育園→上宮田小学校→南下浦中学校→県立横須賀高校→慶應義塾大学総合政策学部卒。
 2022年7月に約7年間勤めた大手食品メーカーを退職し、三浦市へUターン。地域活動に取り組む。
 2023年4月の市議会議員選挙にて、1960票の得票を賜り当選(2位)。

料理歴30年の素人料理 / Zaki's recipe

Recipe 02
大根のポタージュ

材料



※4〜5人前分

大根	450g
玉ねぎ	150g
☆オリーブオイル	大匙1
☆バター	15g
顆粒コンソメ	5g
塩	適量
水	適量
牛乳(生クリーム)	100cc
胡椒	お好み

作り方

1. 玉ねぎは繊維を断ち切るように薄く切り、大根は皮をむいていちょう切りにして水にさらしておく
2. ☆を加えた鍋に玉ねぎと塩少々を加え弱火で炒める
3. 2が薄く茶色になってきたら大根を加えて軽く炒め合わせる
4. 具材がひたひたになるくらいの水とコンソメを加え、弱火〜中火で20分くらい煮詰める
5. 粗熱が取れた4をブレンダーやミキサーでペースト状にする
6. 牛乳を加えてひと煮立ちさせ、塩で味を調える
7. お好みでオリーブオイル(分量外)と胡椒をかける

寒い季節、体にしみわたるあったかいポタージュのご紹介です。三浦の大根はシンプルな調理で本当に美味しくいただけるのですが、ひねりのないレシピを掲載しても仕方がないのでお許しを。色味は玉ねぎの炒め具合で決まるので、白く仕上げたい場合はそんなに炒めなくてOKです(炒めた方が甘みとコクは増します)。ポイルしたブロッコリーやニンジン、ウィンナーなどを加えると、栄養満点な1品にもなります。小分けで冷凍しておけば離乳食にもGOOD！



お手伝いに夢中な娘

みうらみらいラボ 会員募集中

みうらみらいラボは、代表であるいしざき遊太との対話を行いながら、会員同士で『三浦の今と未来について考え合う』ための政治団体です。詳細および入会のお申し込みにつきましては、右の2次元コードよりご確認ください。ご連絡いただければ紙の申込書もお届けします。市内在住でご入会いただいた会員様には、このみうラボReportを毎月お届けします。



質問の全体像

私が行った令和6年第4回定例会における一般質問の項目は、下記のとおりです。

- 1.三浦市職員の人事戦略について
 - (1)三浦市定員管理計画の進捗と今後
 - (2)市職員の人財マネジメント基本方針
 - (3)ハラスメントの現状と対策
- 2.新海業プロジェクトについて
 - (1)三崎漁港グランドデザインの意義
 - (2)三崎漁港本港特別泊地区域の借受
 - (3)これまでの合意形成と今後

今回の質問と答弁の合計時間は、51分ほどとなりました。時間だけを見ればもう1テーマほど扱えたのではないかと思います。その分、各項目に関する事前調査や事例研究を入念に行ったつもりです。

発言の全文については、私が文字起こしたものをブログに見やすく掲載しております。下記の2次元コードからご覧ください。こちらの資料ではそれぞれの項目について、私の質問の意図や要望の概要をわかりやすく整理したいと思います。



こちらの2次元コードより
発言全文をご覧いただけます



いしざき 遊太 一般質問

三浦市職員の人事戦略

市職員の人事戦略には以前から強い関心(というより危機感)を抱いており、昨年的一般質問においても、各種の提言を行ってまいりました。その後、内外でさまざまな動きがあったこともあり、今回あらためて進捗を確認するとともに、追加の要望を申し上げました。

まず尋ねたのは、現状の人事行政における課題認識です。本市の職員数を適正に管理するために『三浦市定員管理計画』が策定されていますが、この中での分析によれば、三浦市は人口と産業構造が似通った全国128市の類似団体と比較して、**69人も少ない職員数で行政運営が行われています**。また、質問の中で、県内の人口規模が近い逗子市や南足柄市と比較しても、20代と30代という若手の職員構成比が低いことが明らかになりました。三浦市の職員は、広範な業務に限られた人的資源で対応する一方、地域手当が低く設定されているために給与水準が相対的に下がってしまうというアンバランスな状況に置かれています。これでは、人材の確保や流出防止に多大な困難を伴うでしょう。

しかし、昨今の人事院勧告によって県内の地域手当割合が改定(三浦市にとっては増額)される見通しであり、人事行政において大きなプラスとなることが期待されています。

■ 県内自治体(市)における地域手当の割合 ■

市	割合
横浜市、川崎市、厚木市	16%
鎌倉市	15%
藤沢市	13%
相模原市、逗子市、海老名市、座間市	12%
横須賀市、平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、	10%
三浦市、秦野市	6%
南足柄市	0%

※各自治体のHP等より情報を集約して作成

地域間の生活コストの差を緩和するための地域手当ですが、現状として近隣自治体と比べてこれだけ大きな差があります。

市の基本的な人事体制の方針である『三浦市人財育成・活用基本プラン』が長年改定されていないことを問題提起していましたが、今回『三浦市職員の人財マネジメント基本方針』として新しい人事戦略が打ち出されました。概ね評価できる内容だと思います。また、この方針に明記はされていませんが、**市職員の居住地について約3人に2人が市外在住であるという状況**は、歳入や災害対応の面などから見ても是正すべきと考えます。

ハラスメント対策については、かねてより要望していた全庁的なアンケートの実施が昨年5月に行われました。匿名性の向上など、運用の面で見直せる余地は残っておりますので、改善とともに継続的な実施を要望しました。なお、ハラスメントについて第三者相談窓口を来年度から設けることも検討されており、ここも前進したように思います。

議員が個別具体的な人事案件に介入することは職権上避けなければなりません。あくまで全体的な制度設計の議論として、今後も積極的に提言していきたい政策領域です。

発言の中での主な要望

- 1.採用ホームページの充実
- 2.職員全体のITスキルを高める施策の実施
- 3.人事評価結果の手当への反映(非管理職)
- 4.市内在住の職員増を意図した施策検討
- 5.ハラスメントアンケートの匿名性向上
- 6.公平委員会の稼働を高める施策
- 7.ハラスメントアンケートの継続実施

新海業プロジェクト

令和5年第1回定例会において新海業プロジェクトが議案として提出されて以来、多くの市民の皆様から期待と不安の両方のお声をいただいております。私自身、プロジェクトの趣旨と方向性そのものには大いに賛同している一方、市の情報開示のあり方については不満を抱いておりました。今回、さまざまなヒアリングを重ねたうえで、満を持して一般質問に臨んだ次第です。

プロジェクトの開始に先立ち、三崎漁港を核とした地域活性化を目的とする『三崎漁港グランドデザイン』が策定されています。税金も投じて作られたこのグランドデザインは適宜更新が行われることになっているにもかかわらず、更新内容が議会に報告されていない実態が今回の経緯で明らかになったため、是正を求めました。

また、県が管理しているうらり横の特別泊地区域については、市が令和8年度からの借り受けを県に要望しています。その意図は“プロジェクトと一体での利活用を目指すため”とのことですが、リスク回避や現状のサービスの維持に関して注意を促しました。

新海業プロジェクトは、事業規模の大きさと最大30年という対象用地の貸付期間を考えると、**もはや私たち大人というよりは、子どもや孫の世代に大きな影響を及ぼす案件**です。市民の皆様への不安を解消するためにも、市には積極的な姿勢で情報をオープンにしていくことを強く望みます。本件が情報公開によって頓挫するような脆弱なプロジェクトではないと信じつつ、引き続き市の動向を細かく注視してまいります。

発言の中での主な要望

- 1.グランドデザイン更新時の迅速な報告
- 2.特別泊地区域借受時のリスク最小化
- 3.現行の事業に準じた+αのサービス継続
- 4.プロジェクトに対する市民の不安解消
- 5.議会に対する積極的な情報開示・共有



おかげさまで、娘と息子もすくすくと育っています。子どもたちに胸を張れる仕事ができているのか、自問自答する日々です。



市から県へ借り受け要望が出されている特別泊地区域